



MIYAGI CHILDREN'S HOSPITAL

宮城県立こども病院

広報紙

<http://www.miyagi-children.or.jp/>



発行：地方独立行政法人 宮城県立こども病院 〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17 TEL:022-391-5111 FAX:022-391-5118

## 「日本クリニックラウン協会設立10周年を祝う」

院長 林 富



この3月、特定非営利活動法人日本クリニックラウン協会設立10周年を祝う会「みんなにありがとう！未来に向かってGO！100年（とわ）に続くように！」という祝賀会が大阪で開催され、感謝をこめて参加させて頂きました。

「クリニックラウン」とは、病院を意味する「クリニック」と道化師をさす「クラウン」を合わせた造語です。クリニックラウンは、入院生活を送るこどもたちの病室を定期的に訪問し遊びや関わりを通してこどもたちの成長をサポートし笑顔を育む道化師のことですが、優れた表現者であると同時にこどもとの接し方、こどもの心理、保健衛生や病院の規則にも精通したスペシャリストの皆様です。

活動の主役はあくまで「こども」です。病気の治療のために様々な制限の中で入院生活をしているこどもたちが、おもいきり笑い、主体的に遊ぶことのできる環境をつくるのがクリニックラウンの役割です。

東日本大震災直後、ご家族もこども達も職員も疲れとストレスが一杯溜まっていた2011年5月、クリニックラウンの方々がこども病院を訪問して下さいました。クリニックラウンの皆さんは、こどもたちの成長状態や年齢、寝ているか、歩けるか、車いすかなどの生活状態に合わせて種々のアプローチ法や道具、スキルを用いてこども達に関わって下さいます。すると、緊張しているこどもがクリニックラウンの動きに笑顔になり、抱っこされていたこどもが下に降りて嬉しそうに走り回ったりするのでした。

それ以後、毎月定期的にこども病院にお越し頂いています。こども病院は設立14年目を迎え、医療型障害児入所施設と統合し再出発しました。「みんなにありがとう！未来に向かってGO！100年（とわ）に続くように！」は、こども病院の感謝と願いでもあります。



### 病院理念

- 私たちは、こどもの権利を尊重し、こどもの成長を育む心の通った医療・療育を行います。
- 私たちは、高度で専門的な知識と技術に支えられた、良質で安全な医療・療育を行います。

### 病院の基本方針

- ①チーム医療、成育医療及び総合的な療育プログラムを実践し、温かい医療・療育を行います。
- ②こどもの成長・発達に応じたきめ細やかな医療・療育を行い、自立の心を育みます。
- ③一人ひとりの成長・発達に寄り添い、安全で潤いのある療養・療育環境を整えます。
- ④小児医療と療育の中核施設として、地域の関係機関と連携し、患者や家族の地域での生活を支えます。
- ⑤こどもや家族と診療・療育内容の情報を共有し、情報公開に努めます。
- ⑥自己評価を行い、外部評価を尊重するとともに、業務の改善や効率化を図り、健全経営に努めます。
- ⑦臨床研究及び人材の育成を推進し、医療・療育水準の向上に貢献します。
- ⑧職員の就労環境を整備するとともに、職員の知識・技術の習得を支援します。

### Contents

|                   |   |
|-------------------|---|
| 部門紹介 .....        | 2 |
| スマイリングホスピタル ..... | 3 |
| ボランティア紹介 .....    | 3 |
| 地域医療連携室だより .....  | 4 |
| 拓桃館診療開始に際して ..... | 5 |
| 院内サークル紹介 .....    | 6 |
| 行事予定 .....        | 6 |
| 編集後記 .....        | 6 |



日本医療機能評価機構  
認定第JC1934号

当院は日本医療機能評価機構の認定病院です。

# 部門紹介



## 整形外科

(科長 落合 達宏)



左より 水野 稚香 部長、落合 達宏 科長、  
高橋 祐子 リハビリテーション科 科長、小松 繁允 医師

整形外科は宮城県拓桃医療療育センターとの統合により平成28年3月1日より常勤の診療科としてこども病院に開設されました。統合前から数えると小児整形外科としての歴史は60年余と長いものですが、新しい一歩を踏み出し、改めて身の引き締まる思いです。

整形外科は小児の運動器疾患を対象にした外科系診療科です。手術を治療の柱として診療を行っていますが、意外なほど切らない治療が多いのも整形外科の特徴です。ストレッチ、ギプス、装具など痛みを伴わない治療が多くあります。

現在当院の整形外科外来では、高橋祐子リハビリテーション科科長と協同で診療にあたっています。

一方、必要になれば積極的に手術を選択することになりますが、成長期の変化のなかで、いつ、どのように行うか、その判断が最も重要になります。骨格の成長完了までに複数回の治療が必要になる疾患もありますが、最善の結果を目指して、ご本人ご家族と一緒に粘り強く診療して参りますのでご支援いただければ幸いです。

## 子ども療養支援士

(子ども療養支援士 才木 みどり)



左より 才木 みどり 子ども療養支援士、渡邊 英理子 子ども療養支援士

子ども療養支援士とは、多職種からなる医療チームの一員として一人ひとりのこどもと家族の医療体験がよりストレスの少ない、怖くないものになるようにお手伝いをする日本の専門職です。具体的な活動内容としては、処置や検査のことをわかりやすい方法で伝え心の準備をして臨めるようお手伝いをしたり、処置中や検査中に不安や苦痛を軽減するサポートをしたり、年齢や発達、活動の制限に合わせて遊べる環境を整えたり、体や病気の理解に関するお手伝いをしたりしています。活動の中で大切にしているのは、一人ひとりを『力のある存在』として認め、『こども目線』を大切に、特にこどもの日常である『あそび』の価値を重視しながら病院という非日常な環境であってもこどもと家族が本来持っている、困難を乗り越える力・前に進む力を十分に発揮できるように医療チームの一員としてサポートすることです。これからもこどもと家族の療養生活を支えるお手伝いが少しでもできればと思います。

# スマイリングホスピタル

(成育支援局 保育士 松谷 ひとみ)

当院では、入院生活の中でもこどもらしく楽しい時間をすごせるように様々な行事を企画運営しています。その中の一つ、スマイリングホスピタルジャパン「アーティストとあそぼう」のご紹介をします。



ピアノデュオ『トゥッティ』の演奏

奏あり、歌あり、絵本の読み聞かせあり、とバラエティーに富んでいました。こどもたちが一緒に楽器を鳴らす場面があったり、演者の方がこども一人一人に近づいて折り紙で作ったかわいらしいヒラヒラのちょうちょを目の前で動かして見せてくれたり、こどもたちも付き添いの方もみんな笑顔いっぱいでした。

『こどもたちにたくさんの笑顔を！』当院スタッフみんなの願いです。病院では様々な方々のご協力によりこのような楽しい行事を行っています。

スマイリングホスピタルとは、「病気のこどもたちにわくわくする時間を！」とプロのアーティストボランティアさんが定期的に病院を訪問してアートを届けるNPO法人です。宮城県立こども病院には毎月1回来てくれています。

3月22日は2人組アーティストのトゥッティさんが来てくれました。ピアノ演



スマイリングホスピタルジャパンのシンボルマーク



スマイリングホスピタルスタッフによる折り紙パフォーマンス

## ボランティア紹介 外来プレイルーム

(常盤 陽子)

息子が幼い頃、私もこの病院に通院させて頂いておりました。

こどもに病気や障害がわかった時、母親は自分を責めます。考えでも仕方のないことばかり考えて毎日落ち込み、愛しい我が子の前に、笑顔など忘れてしまっていたように思います。そういう思いを経験した者として、来院されるお母さま方の気持ちに、他人事ではなく寄り添うことができるのではないかと考えボランティアを希望させて頂きました。

活動を始めると、こどもたちが本当に可愛くて。ひとり一人が守るべき宝であると感じながら、毎回私の方が元気を貰っています。また活動が続けられる一つには、一緒に活動しているボランティアさんの存在も大きいです。魅力ある方々に出会い、楽しく活動できることに、大変感謝しております。

こども病院に来院される皆様が、安心できる場所と感じられるように、これからもお手伝いをさせて頂きたいと思っています。



# 地域医療連携室だより

## 登録医の先生方へ（お知らせとお願い）

### 内分泌科・耳鼻咽喉科・児童精神科について

当院では、現在非常勤医師の診療科のうち、内分泌科・耳鼻咽喉科・児童精神科は原則として院外からのご紹介はお受けしておりませんので、どうぞご了承ください。

### 地域医療研修会のご案内

#### 臨床遺伝カンファランス

当院診療部より先天性疾患（先天異常）・遺伝性疾患の症例を呈示し、関連したテーマで臨床遺伝専門医によるミニレクチャーを行います。

|      |                |        |                    |
|------|----------------|--------|--------------------|
| 第32回 | 平成28年 9月 1日(木) | 18:00～ | 場所：宮城県立こども病院 愛子ホール |
| 第33回 | 平成28年11月10日(木) | 18:00～ | 同上                 |
| 第34回 | 平成29年 2月 2日(木) | 18:00～ | 同上                 |

#### 臨床放射線病理カンファランス（CRPC）

当院診療部より2症例を呈示し、臨床・放射線・病理など様々な角度から診断・治療をじっくり検討します。当日ご参加の先生方からの症例呈示も歓迎いたします。詳細は、順次電子メールでご案内さしあげるとともに、当院ホームページに掲載いたします。

本カンファランスは、日本医師会生涯教育講座認定（1単位）認定見込みです。

|      |                |        |                    |
|------|----------------|--------|--------------------|
| 第37回 | 平成28年 9月14日(水) | 18:00～ | 場所：宮城県立こども病院 愛子ホール |
| 第38回 | 平成28年12月14日(水) | 18:00～ | 同上                 |
| 第39回 | 平成29年 3月 8日(水) | 18:00～ | 同上                 |

この他にも、感染対策研修会、安全対策研修会等の開催を予定しております。詳細が決まり次第、当院ホームページに掲載しますとともに、メールアドレス登録済みの先生方へ電子メールでご案内させていただきます。

### 地域医療研修会のご案内方法について

当院地域医療研修会のご案内について、これまで登録医の先生方にハガキで通知をしておりましたが、今年度よりメールアドレスをご登録いただいた先生への電子メールと、当院ホームページでのご案内に変更させていただきました。

なお、今後も先生方のメールアドレス登録を継続してまいりますので、登録ご希望の方は、

- ①貴医療機関名
- ②ご氏名
- ③メールアドレス（PCに限ります。携帯・スマホ専用メールアドレスはご遠慮下さい）

をご記載のうえ、当院地域医療連携室へ電子メールかファクスでご送信下さいますようお願い申し上げます。

なお、いただいたメールアドレスは個人情報として厳重に取り扱い、研修会等のご案内ならびに緊急時の連絡以外には使用いたしません。

何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

宮城県立こども病院 地域医療連携室 室長 虻川 大樹

〒989-3126 仙台市青葉区落合四丁目3-17 TEL:022-391-5115(直通) FAX:022-391-5120(直通)  
E-mail: tiiki@miyagi-children.or.jp http://www.miyagi-children.or.jp/  
開室時間／月～金曜日(祝日、年末年始は除く) 8:30～17:15

## 神経科



副院長(療育担当)兼神経科 科長 萩野谷 和裕

神経科は、拓桃医療療育センターがこども病院に平成28年3月に移転統合したことで、大所帯のチームとなり、現在8人で診療しております。平成28年4月の神経科の平均入院患者数は、拓桃園と本館合わせて27人/日でこれほどの増加は予想外でした。統合前から予想していた難しさは、リハビリ病棟である拓桃園と急性期病棟であるこども病院本館の神経科病棟をどのように切り盛りしていくかでした。療育のまなざしで長期的な視野でじっくり患者さんご家族にかかわっていく部分と、一刻も無駄にできない急性期患者への注力を、頭の中でいかに切り替えてやっていくかの試みをいまだに継続中です。急性期入院は重症児の重症肺炎や急性脳症・けいれん重積の治療が主です。神経科外来では、脳性麻痺・てんかん・中途障害・発達遅滞・末梢神経障害・頭痛・発達障害・筋疾患などあらゆる小児神経の患者さんの診療をさせていただきます。

明るい兆しは、拓桃館への短期入所や定期的チェックの入院が増えている点です。これまで拓桃を利用されていなかった方々からも問い合わせが来ており、今後患者

さんご家族に満足いただけるスムーズな利用ができるようさらに対応を模索していきます。

もう一つ、ご紹介させていただきたいのは、県内の他施設では見られない当院(拓桃園)のユニークなサービスとして、乳幼児期の発達遅滞・中途障害・摂食障害・脳性麻痺患者を対象とした親子入院があります。これは医療型障害児入所施設としてのメリットを生かした1~2か月の親子による入院で、多職種によるリハビリ・保育・ペアレントトレーニングを介して、患児の機能改善を図る、家族の療育への意識を高める、退院後の地域での連携機能を調整するうえで、大切な役割を担っています。一度に5組の入所が可能です。今後ますます利用していただければと思います。



前列左より 遠藤 若葉 医長、山村 菜絵子 医師、安西真衣 医師、富樫 紀子 科長  
後列左より 乾 健彦 医長、萩野谷 和裕 副院長兼科長、鈴木 智 医師、宮林 拓矢 医師



# 宮城県立こども病院 院内サークル紹介



## ワンダーフォーゲル部

(麻酔科 部長 井口 まり)

こども病院ワンダーフォーゲル部は2013年に発足しました。御代田隊長(歯科口腔外科科長)、日戸副隊長(産科部長)のもと、月1回近郊の山を登っています。現在部員は約20名、診療部、看護部だけでなく放射線部、検査部など院内各部署にメンバーがいます。FB(Facebook)に山行予定をアップし、希望者が参加するというスタイルです。下山後はたいい温泉ですね。いままで泉ヶ岳、蕃山をはじめ安達太良山、月山、栗駒山などにも足を延ばしました。いつもは日帰りですが、夏には1泊での山行も計画します。よく「冬山は行かないよね」と聞かれるのですが、いいえ、行きます!場所と天気を選べばいいという考えで、冬もスノーシュー・輪かんじきで歩いています。ガイドさんを頼むこともあり、安全に楽しんでいます。いずれは日本アルプスにも遠征したいと夢は壮大です。最近部内に化石班もできました。化石探しも楽しみです。どうですか、一緒に山に行きませんか?



栗駒山山頂



栗駒山登山



黒鼻山にて

## 行事予定

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 7月11日  | まほうの広場コンサート       |
| 7月26日  | スマイリング・ホスピタル・ジャパン |
| 7月28日  | まほうの広場コンサート       |
| 7月29日  | 夏祭り               |
| 8月 1日  | プラネタリウム           |
| 8月16日  | まほうの広場コンサート       |
| 8月19日  | 夏祭り(拓桃館)          |
| 8月23日  | プラネタリウム           |
| 8月30日  | スマイリング・ホスピタル・ジャパン |
| 9月14日  | 第52回 クリニクラウン訪問    |
| 9月23日  | コンサート             |
| 9月27日  | スマイリング・ホスピタル・ジャパン |
| 10月25日 | スマイリング・ホスピタル・ジャパン |
| 10月29日 | 文化祭(拓桃支援学校)       |
| 11月 9日 | 第53回 クリニクラウン訪問    |
| 11月29日 | スマイリング・ホスピタル・ジャパン |

## 編集後記

また仙台に夏がきます。今年は8月にリオデジャネイロでオリンピックが開催されますが、いろいろな競技で、新しい記録が過去の記録を次々と塗りかえていくことでしょうか。皆さんも、しばらくの間寝不足の日々が続くのでしょうか。

さて、3月の拓桃医療療育センターとの統合から4ヶ月を経て、拓桃館の診療も軌道にのりつつあります。

宮城県立こども病院の広報紙「いのちの輝き」は、これからも当院の出来事をいち早く、皆さんにお伝えできるよう、編集委員一同、内容の充実に努めて参ります。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

(地域医療連携室主任 真嶋 智彦)

## 地方独立行政法人 宮城県立こども病院

〒989-3126

宮城県仙台市青葉区落合四丁目3-17

TEL:022-391-5111 FAX:022-391-5118

<http://www.miyagi-children.or.jp/>

## 広報委員会

委員長 田中 高志  
広報委員 虻川 大樹

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 阿部 智  | 板橋 孝  | 乾 健彦  |
| 今泉 益栄 | 岩崎かおり | 大塚 有希 |
| 櫻井奈津子 | 高橋 清志 | 武山 淳二 |
| 富岡 聖弥 | 原山千穂子 | 藤本 尚子 |
| 真嶋 智彦 | 町井 祐輔 | 三上 静香 |
| 森永 華世 | 横山麻依子 |       |

